



:。\*

\*:☆: 大阪府細胞検査士会 メールジャーナル

\*。\* 2024年1月号

∴\*:☆∴。



\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*:☆★\*

### 【目次】

◆ 1 <お知らせ>

◆ 2 <会員コラム>

日本医学臨床検査研究所  
立花 幸

◇ 編集後記

深田 知也

\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*:★☆\*

☆ ~~~~~

★ ◆ 1 <お知らせ>

☆ ~~~~~

- ★ 1) (再掲) 令和5年度 第 48 回学術研修会のお知らせ(当会主催)
  - ☆ 2) (再掲) 第 36 回大阪病理技術研究会のお知らせ(大臨技主催) **締切間近!!**
  - ★ 3) (再掲) 第7回 大臨技医学検査学会のお知らせ(大臨技主催)
- 

- 1) (再掲) 令和5年度 第 48 回学術研修会のお知らせ(当会主催)

令和5年度 第 48 回学術研修会の日時は下記の通りです。なお、最新情報についてはお手数ですが当会 HP をご確認ください。

【日時】 令和 6 年2月 18 日(日) 13:00~16:55

【場所】 大阪市立総合医療センター さくらホール

大阪府細胞検査士会 HP

<https://www.osaka-cytology.com/cont8/main.html>

- 2) (再掲) 病理細胞検査部門 第 36 回大阪病理技術研究会(大臨技主催) **締切間近!!**

今年度も現地で開催します！講師の先生方の施設での病理検査の取り組み、昨年の続編として免疫染色の理論、CTC と細胞検査士のこれから、病理検査室の管理についての新しい知見も含めて習得でき、病理検査技師のレベルアップに役立つ内容となっています。認定病理検査技師の単位が取得できます。皆様、奮ってご参加ください。

【内容】 講演1. 当院での検体処理の工夫と課題 宝塚市立病院 金森 詩音

講演2. 術中迅速組織標本作製条件の検討(仮) 大阪赤十字病院 和田

恭典

講演3. 免疫組織化学染色の理論(仮) ロシユ・ダイアグノスティックス株式会社 森 真俊

講演4. 血中循環腫瘍細胞(Circulating tumor cell:CTC)と細胞検査士の未来(仮) 奈良県立医科大学附属病院 龍見 重信

講演5. 検査後品質管理としての報告書既読管理をいかに進めるのか  
大阪公立大学医学部附属病院 安藤 加奈江

講演6. ISO15189 フレキシブルな対応、そして2022・第4版 兵庫県臨床  
検査研究所 川嶋 雅也

【日時】2024年2月4日(日) 13:00 ~ 17:00(受付 12:30 ~)

【会場】住友病院 14階講堂

【参加費】大臨技または日臨技会員 500円 非会員 1000円

【定員】100名(先着順)定員になり次第終了します。

【申込期間】2023年12月20日(水)~2024年1月21日(日)

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02dwg3jqi8f31.html>

3) (再掲)第7回 大臨技医学検査学会(大臨技主催)のお知らせ

【日時】2024年2月11日(日)

【会場】オービックホール(オービック御堂筋ビル2階)

【参加費】大臨技会員 1,000円、大臨技非会員・賛助会員 3,000円

詳細についてはお手数ですが下記リンクよりご確認ください。

<https://osaka-amt.or.jp/taikai/taikai07/gaiyou/>

---

★ ~~~~~

☆ ◆ 2 <会員コラム>

★ 「3歳の息子」

☆ ~~~~~

★ 日本医学臨床検査研究所  
立花 幸

---

---

私には3歳の息子がいます。小さい子は純粋で、デリカシーの概念はまだないようです。3歳児の発言にはほっこりすることが多いのですが、時々地味に傷つけられます。自分の白い歯を鏡で見た後、「かあか(お母さん)の歯は何で白じゃなくて黄色なん？」と言ったり、ヨギボー(ビーズクッション)を触って「かあかのお腹みたいやなあ」と言ったり…。本当に純粋です。

そんな息子が好きなのは電車です。はやぶさ等の有名な新幹線ブームは過ぎ、今はローカル列車がお気に入りです。中でも JR 予讃線(四国)を走る列車の動画をよく見ており、列車接近メロディーである”瀬戸の花嫁”の切ない感じにも魅了されています。家でその曲を歌いながらプラレールを動かす姿を見ると、本物を見せたいと親心をくすぐられ、大阪から香川の宇多津駅まで車で連れて行きました。実際に電車を見た息子は嬉しそうというより、真剣な表情で電車や駅員を見ていました。

このようにお出かけをすると子供の観察力に驚きます。電車の発車音の違いや線路の形、駅員の服装、周りの風景を細かく観察していて、キラキラした目で説明してくれます。そして帰宅すると黙々とおもちゃで自分の見たことを再現するのです。その姿を見ると、好きな事を通じて観察力や創造力、伝える力がついていけば息子の人生は豊かになっていくのだろうと感じます。好きな事に触れる機会を多く作って、新しい発見を家族で共有したいです。とはいえ子連れのお出かけは疲れることも。電車を見に行っただけの帰り、疲れの滲み出る私たち夫婦に息子が「連れて行ってくれてありがとう！電車見れてうれしかった！」と。こういう純粋な言葉には「明日からも頑張ろう」とポジティブな気持ちにさせられるのです。

---

---

— ◆◆

編 集 後 記

◆◆

2024 年は激動の年明けとなりました。1日も早く皆様が安定した日々が取り戻せるよう、お祈り申し上げます。そして、本年も大阪府細胞検査士会メールジャーナルをどうぞよろしく願いいたします。

---

---

2024 年1月 20 日

※メールジャーナル登録アドレスの変更や問い合わせ等につきましては、下記メールアドレスへご連絡ください。

[osakaactshomubu@gmail.com](mailto:osakaactshomubu@gmail.com)

※メールジャーナル関係以外の問い合わせにつきましては、大阪府細胞検査士会事務局あて下記メールアドレスへご連絡ください。

[osaka-kensashi@osakacity-hp.or.jp](mailto:osaka-kensashi@osakacity-hp.or.jp)